

必修科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01CH001	コンピュータサイエンス特別演習	2	2.0	1	通年	随時	3B302, 3B303, 3B402, 3B405	CS専攻担当教員	コンピュータサイエンス専攻の様々な研究分野の概観を得るとともに、自分の研究に関するプレゼンテーションを行う。	必修。詳細は専攻ウェブページに掲載する。
01CH002	コンピュータサイエンス特別研究I	3	4.0	1	通年	随時	3B302, 3B303, 3B402, 3B405	CS専攻担当教員	指導教員の指導のもとで、コンピュータサイエンスの研究テーマに関する基礎的な知識を習得すると共に、そのテーマの研究を行う。また、研究室のセミナーに参加し、研究討論を行う。	必修。
01CH003	コンピュータサイエンス特別研究II	3	6.0	2	通年	随時	3B302, 3B303, 3B402, 3B405	CS専攻担当教員	指導教員の指導のもとで、研究テーマを選択し、そのテーマに関する研究を行うとともに、自らの研究に関するプレゼンテーションを行う。また、研究室のセミナーに参加し、研究討論を行う。	必修。詳細は専攻ウェブページに掲載する。 「コンピュータサイエンス特別研究I」(01CH002)を履修した学生に限る。

専門科目(選択科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01CH103	数理アルゴリズム特論	4	2.0	1・2	秋AB	金3,4	総合B0110	櫻井 鉄也, 多田野 寛人, 今倉 暁, 齊藤 秀	科学計算で現れる各種のモデリングとアルゴリズムについて、とくに大規模な線形計算を中心に講義する。	西暦奇数年度開講。02RA215, 02RE707と同一。英語で授業。
01CH105	数値シミュレーション特論	1	2.0	1・2	春AB	木5,6	3B406	蔡 東生	コンピュータアルゴリズムを使い工学、化学、医学、経済学で現れるシミュレーション問題を解く。具体的な項目として、差分法、緩和法、エントロピー最大化法、フラクタル、人工生命を使った物理的現象モデル、カオスの理論とその応用等	英語で授業。
01CH107	基礎計算生物学	1	2.0	1	秋AB	木1,2	3B301	櫻井 鉄也, 稲垣 祐司, 庄司 光男, 牧野 昭二, 佐藤 三久, 保國 恵一	計算生物学についての基礎的な概念と計算手法について学ぶ。	2012-2014年度に02RA210の単位を修得したものは履修不可。02RA210, 02RE711と同一。英語で授業。
01CH215	Principles of Software Engineering	1	2.0	1・2	春AB	水3,4	3A214	ヴァシラケ シモナ ミレラ, 高橋 伸	The goal of this course is to introduce basic software engineering principles. The students will learn about the necessity of software engineering as a modern engineering discipline; they will study various software development models, and focus on some of the major phases in the software development life cycle. Project planning and management, business aspects of software engineering, along with some of the basic tools used by software engineers during the development of large applications, will also be introduced.	英語で授業。
01CH301	プログラミング環境特論	1	2.0	1・2	秋AB	木5,6	3B301	建部 修見, 佐藤 三久	並列プログラミングやオブジェクト指向プログラミングなど高度な情報処理システムを実現するソフトウェアの開発のための最先端プログラミング言語処理系および開発環境について、論じる。	02RE717と同一。英語で授業。
01CH304	データ工学特論I	1	2.0	1・2	秋AB	月3,4	総合B0110	北川 博之, 天笠 俊之, 塩川 浩昭	データマイニングを中心とした大規模データを対象とした先端データ工学技術について論じる。まず、基礎となるデータベース技術、情報検索技術について概観した後、データマイニングの主要な手法と関連するトピックを取り上げる。	02RE703と同一。英語で授業。
01CH406	高性能コンピューティング特論	1	2.0	1・2	秋AB	水2,3	総合B0110	朴 泰祐, 高橋 大介	大規模数値処理に代表される高性能コンピューティング(HPC)について、ハードウェア及びソフトウェアの両面から捉え概説する。特に並列処理手法に基づくHPCに関する諸技術を、実例を踏まえ取り挙げ論ずる。	2012-2014年度に02RA220の単位を修得したものは履修不可。02RA220と同一。英語で授業。
01CH609	適応的メディア処理	1	1.0	1・2	春AB	月2	3B303	亀山 啓輔	Adaptive techniques in processing, recognition and retrieval of media information will be discussed. (Lecture in English)	01CF114と同一。英語で授業。
01CH740	Experiment Design in Computer Sciences	1	2.0	1・2	春AB	金5,6	3B301	櫻井 鉄也, アランニヤ, クラウス	In this course we will study how to design and perform scientific experiments in the context of Computer Science research, with the goal of producing sound Scientific results. Topics include techniques for parameter and experiment selection, and statistical methods for analysis of results.	2013年度までに開設された「計算科学特別講義II」(01CH752)の単位を修得した者の履修は認めない。英語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01CH751	コンピュータサイエンス英語講義I	1	1.0	1・2	春C	集中		アランニヤ, クラウス	計算科学分野の最近の重要課題について講述する.	2013年度までに開講された「計算科学特別講義I」(01CH751)の単位を修得した者は、履修できない。英語で授業。

計算科学大学院共通

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01ZZ605	計算科学リテラシー Computational Science Literacy	0	1.0	1 - 5	春季休業中	集中		日下 博幸, 石塚 成人, 全 曉民, 橋本 哲男, 天笠 俊之, 吉川 耕司, 高橋 大介	超高性能計算機を用いた数値解析により科学の未踏領域を切り拓く計算科学は実験・理論に並ぶ、重要かつ最先端の研究手段であり、その重要性を増している。これからの科学を探究するには計算科学の基礎的な知識と方法論を身に付けておくのは必須であり、いわば「読み書き」すなわちリテラシーであるといえる。この講義はこれからの科学にとってのリテラシーである計算科学についての入門編である。計算科学研究センターの教員により各分野における計算科学による研究を概説し、さらに計算科学から科学諸分野を分野横断的かつ包括的に捉える大局的な視点を与えることを目指す。また、計算科学を支える最新の計算機技術についても概説する。	01ZZ604と同一科目である。英語で授業。
01ZZ607	計算科学のための高性能並列計算技術 High Performance Parallel Computing Technology for Computational Sciences	0	1.0	1 - 5	秋C	集中		朴 泰祐, 高橋 大介, 建部 修見, 多田野 寛人, アランニヤ, クラウス, 李 珍泌	計算科学を支える大規模シミュレーション, 超高速数値処理のためのスーパーコンピュータの主プラットフォームは最新のマイクロプロセッサを用いた並列計算機となっている。ところが, 大規模な並列計算機は, 高い理論ピーク性能を示す一方で, 実際のアプリケーションを高速に実行することは容易なことではない。この講義は, 計算機の専門でない, 高速な計算を必要とする計算科学のユーザが並列計算機の高い性能を十二分に活用するために必要な知識, プログラミングを学ぶことを目的とする。これは, 公開セミナーと同時に行われ, 計算科学リテラシーの上級コースである。 The main platform of supercomputers that support computational science in large-scale simulations and high-speed numerical processing now consists of arrays parallel computers utilizing the latest microprocessors. Although the theoretical peak performance of massively parallel computers is high, it is not easy to obtain those calculation speeds in actual applications. This lecture series is directed not toward specialization in computers, but rather toward enabling those who apply computational science requiring high-speed computation to gain the necessary mastery in knowledge and programming for full utilization of the high-performance capabilities of parallel computers. It is conducted concurrently with the Open Seminar, as an advanced course in computer science literacy.	英語で授業。